

日本細菌学会

2019年評議員会 会議録

開催日：2019年4月22日 14:00～15:40

場所：札幌コンベンションセンター

1. 議長・副議長の挨拶

委任状 27 名と会場出席者数は規定の 39 名を越えており、評議員会が成立していることが報告された。荒川宜親議長・山崎伸二副議長が開会の挨拶をなされた。

2. 赤池孝章理事長の挨拶

前執行部の体制を引き継ぎ、1 年が経過した。今期の目標の一つは目に見える学会活動であり、広報活動の強化と関連学協会との連携がある。産官学連携活動を精力的に取り組む。ご支援、忌憚の無いご意見を頂きたいとの挨拶があった。

3. 第 92 回開催報告（山口博之総会長）

第 92 回総会の特徴は、会費を上げたこと、開催時期を 3 月から 4 月に変更（天候の影響に配慮）、デジタルポスターなどがある。しかし、会員の事前登録が少ない点が心配であるが、皆様が楽しめる仕掛けを作ったのでよろしく願い申し上げます。

4. 会務報告：河村好章理事

1) 会員数

3 月 31 日現在 名誉 34, 正会員 1689 名 学生 516 名、賛助 31 社

2) 各種部会活動報告 赤池孝章理事長

(1) 広報メディア 河村好章理事

関連学会にポスター掲示をお願いした（昨年開始）

プレスリリースを開始した。

(2) 産官学連携：菊池 賢理事

新たに開始した委員会。ある企業から 1000 万円の寄附の申し出。東京五輪・外国人労働者の受け入れ等により新たな微生物の侵入に関する防疫の啓蒙活動に。

(3) ICT 委員会 臨床講習会 2 回から 3 回の受講が必要。

(4) 日本微生物学連盟・学術会議 川原一芳理事

年 2 回。4 月 19 日 IUMS の問題 今後どうするか？

認知度が低い。シンポジウムなどに共催をする。

名古屋での総会でも共催のシンポを企画

日本微生物学賞 45 歳以下を対象に 3 つカテゴリーに分けて賞を授与。

(5) バイオセーフティ委員会：大西 真理事 病原体等取り扱い指針の改訂中。分類の調整中。

速やかに発行したい

(6) MI 誌 寺尾 豊理事：2019 年 IF1. 33 から上昇する予定

投稿をお願いしたい。メリット：安くて早い。原則無料。カラーは追加。

細菌学会の会員は無料アクセス

査読スピード：12 日（最初のレスポンス）26 日でアクセプト

引き続きお願いします。

(7) 次世代・教育資源 松下 治理事

無料出張講演（15万円の支援）千葉大・野田先生 2018年は22校5千人強

細菌学若手コロッセウム：2018年度 in Okayama・・・台風で中止し、理事会の承認を得て、30万円は返還した。

寄付金は2019年度の蔵王に移行。

第92回の若手シンポジウム企画として、2018年コロッセウムでの発表演題を。

2019年 蔵王での開催 東北大・矢野先生が世話人 60名募集。

教育資源：ミクロの世界からのメッセージ・パンフレット 磯貝恵美子先生のご尽力。これを再利用したい。修正し、PDFとしてウェブサイトに掲載する予定。

5. 名誉会員選考経過報告 松下 治委員長：評議員5名以上の推薦者が1名

○奥田研爾先生（横浜市大医学部）新規ワクチン研究 名誉会員として推薦
理事3期、評議員10期。名誉会員に推挙。。

6. 学会賞選考経過 阿部章夫委員長の代理・寺尾 豊委員

12月4日八重洲クラブで委員会開催

(1) 浅川賞

○荒川宣親「新型多剤耐性菌の克服に資する体系的研究」

(2) 黒屋奨学賞

○北尾公英（岐阜大学院医学研究科）

「多剤耐性緑膿菌の感染制御を目指した分子細菌学的研究」

○中村修一（東北大学大学院工学研究科）

「細菌の運動機構に関する研究」

○松村拓大（金沢大学医薬保健研究科）

「ボツリヌス神経毒素複合体の腸管吸収機構に関する研究」

(3) 小林六造記念賞 応募者なし 周知をお願いし、来年度は受賞者を出したい。

5) 第93回総会準備状況（荒川宣親総会長）

日時：2019年2月19-21日 ウィンクあいち

「Postantibiotic eraと細菌学・Medical dark ageへの挑戦」

議事

1) 賛助会員の種別設定について 赤池孝章理事長

会員数の減少に歯止めを掛けたいが、スピード感をもって裾野を広げる・増やす方策として賛助会員のカテゴリーを増やすことで、学会会員増の対策の提案

○団体賛助会員・・・これまでの賛助団体

○教育賛助会員・・・初等・中等教育に携わる教員を対象

○ジュニア賛助会員・・・18歳以下の子供たちを対象

→承認

2) 第 94 回総会長推薦 赤池孝章理事長

松下 治 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病原細菌学分野教授

本日の理事会で、受諾されることを確認し、本評議員会で推薦する。

→承認

開催日：2012 年 3 月 23-25 日

開催場所：岡山コンベンションセンター ママカリフォーラム

3) 2018 年度収支決算：河村好章理事

4) 2018 年度監査報告

監事：西川禎一・川端重忠 適正に運営されているとの報告。

→決算承認。

5) 2019 年度収支予算：河村好章理事

→承認。

6) 2020 年東京五輪への対応について：赤池孝章理事長

賛助会員であった日本微生物学研究所から、2020 年東京五輪開催の衛生管理の強化を取り組んでいきたいが、それに、日本細菌学会にも協力頂きたい。一般市民の衛生観念・管理の認知度を上げる啓蒙活動にご協力頂きたい。1 千万円の寄附。産官学委員会で具体的な対応を検討している。

一般市民へのセミナーなど

支部会への支援などを含めて、今後の対応について、関連学協会を含めたシンポジウム・セミナーなどの取り組みを検討したい。

→承認